

神戸学院大学 第2次中期行動計画 中期計画(第3層) 2020年度達成度評価表 分野:教育

		評価	理由
中期目標	三つのポリシーに基づき、学生の成長を促す教育を実践します。		
中期計画	1 学士課程教育の質的向上の推進	B	三つのポリシーに基づく、継続的なPDCAの実施からの改善について、全学的に実施していることは評価できる。全学教育推進機構が中心となって、最優先で新型コロナウイルス感染拡大に伴う遠隔授業の対策・準備を行ったことが、結果的にアクティブラーニングを見直す機会ともなった。また、コロナ禍に対応した大学教育に関するFDセミナーを開催し、2021年度の授業のあり方を啓発したことも評価できる。今後、得られた知見をアクティブラーニング手法の発展と多様化・促進に繋げていくような取組みを期待する。
	2 大学院課程の改善	C	三つのポリシーに基づくPDCAの実施については、概ね目標どおり遂行されている。心理学研究科の検定試験・資格取得支援について、大学院生を対象とする公認心理師試験のための勉強会を複数の教員が開催し、大学院生への積極的な参加が促進された点や、解説講座を複数回にわたって実施した点などは評価できる。しかしながら、大学院進学へのメリットの明確化や募集体制の強化に関する計画の実行・進捗状況には、研究科ごとにばらつきがあるように見受けられる。各研究科、入学・高大接続センター、広報部等が一層密になり次年度以降も引き続き取り組むことを期待する。
	3 全学教育推進機構の整備充実	C	新型コロナウイルス感染拡大に伴う遠隔授業の対策・準備に注力し、当初の計画通り進まなかった点があったものの、学生の未来センターにおいてコロナ禍で必要と考えられるKPC・KAC両キャンパスでの学生の「生活支援プロジェクト」を複数回にわたり実行し、食品等の安価提供、無償配布を行い、オンラインで学生相談を実施するなどしたことは評価できる。 なお、キャリアセンターにおいて、コロナ禍にあり例年並みの就職支援が実施できなかった点については、コロナ禍であっても対応可能な実践的な就職支援プログラム(ガイダンス、セミナー等)を検討することが望まれる。
	4 FD活動の促進	B	新型コロナウイルス感染拡大に伴う遠隔授業の対策・準備に注力し、当初の計画通り進まなかった点があったものの、遠隔授業に関する調査を前・後期それぞれ2回の計4回、全学生を対象に実施し、早急に改善が必要な事項をまとめた上で、全教員にデジタル配布し、共有に努めるなどした点は、コロナ禍のもとでの授業改善に有益であり高く評価できる。また、コロナ禍による急な授業形態の変更に対応するための全学的なFDが、概ね適切なタイミングで相当な回数開催されたことも高く評価できる。 ただし、一部の研究科において十分なFDが実施できていないため、改善が必要である。
	5 教育環境の整備充実	B	新型コロナウイルス感染拡大に伴う授業形態変更等の影響で無線LAN整備や、eラーニングシステム利用の促進、手続方法の利便性向上等が計画していたよりも早くに実行に移しており、施設の保全や更新については当初の目標以上の成果が見られる。今後は、ソフト面とあわせて、コロナ禍で利用を制限している実習室・演習室、アクティブスタジオ、情報処理自習室等のニーズ調査、活用促進などハード面についての整備充実も期待する。
	6 教育のグローバル化推進	C	国際交流センターを中心とした、地域の自治体・企業・高校・住民等のグローバル化への貢献計画については、高校生を対象にしたEnglish Plazaのイベントを行い、高大連携授業では本学留学生が高校生と対面で、母国と日本の文化や生活習慣をテーマに交流を行うなど、一定の成果が見られる。学生の海外留学・海外実習の中止、海外からのインターンシップの受入れ中止、客員教授の招へい延期等を余儀なくされたものの、交換・派遣留学協定校とのオンライン留学やオンライン研修に切替え、対応したことは一定の評価ができるが、次年度はより一層の充実を期待する。
	7 アドミッション・ポリシーに基づく入学者選抜制度の見直し	B	入学者選抜制度について、各学部で学部の現状と受験生のニーズに即した選抜方法の調査・見直し・検討を適切に行っている。入学・高大接続センターを中心とし全学的な見直しにも引き続き期待する。
	8 附属中学校・高等学校との連携推進	C	生徒・保護者の方々を対象とした学部紹介(オンデマンド配信)や、入学予定者を対象にスクーリング(入学前指導)を実施するなど、入学・高大接続センターと各学部が連携して新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した形式で様々な連携事業を推進したことは評価できる。広報活動として、次年度以降、大学ホームページ上で、大学と附属中学校・高等学校との連携事業をまとめて掲載し、中高一貫教育の魅力や蓄積、継続的に発信することが予定されているため今後期待する。

評価 S: 目標よりはるかに上回る、A: 目標をやや上回る、B: おおむね目標どおり、C: 目標をやや下回る、D: 目標をかなり下回る